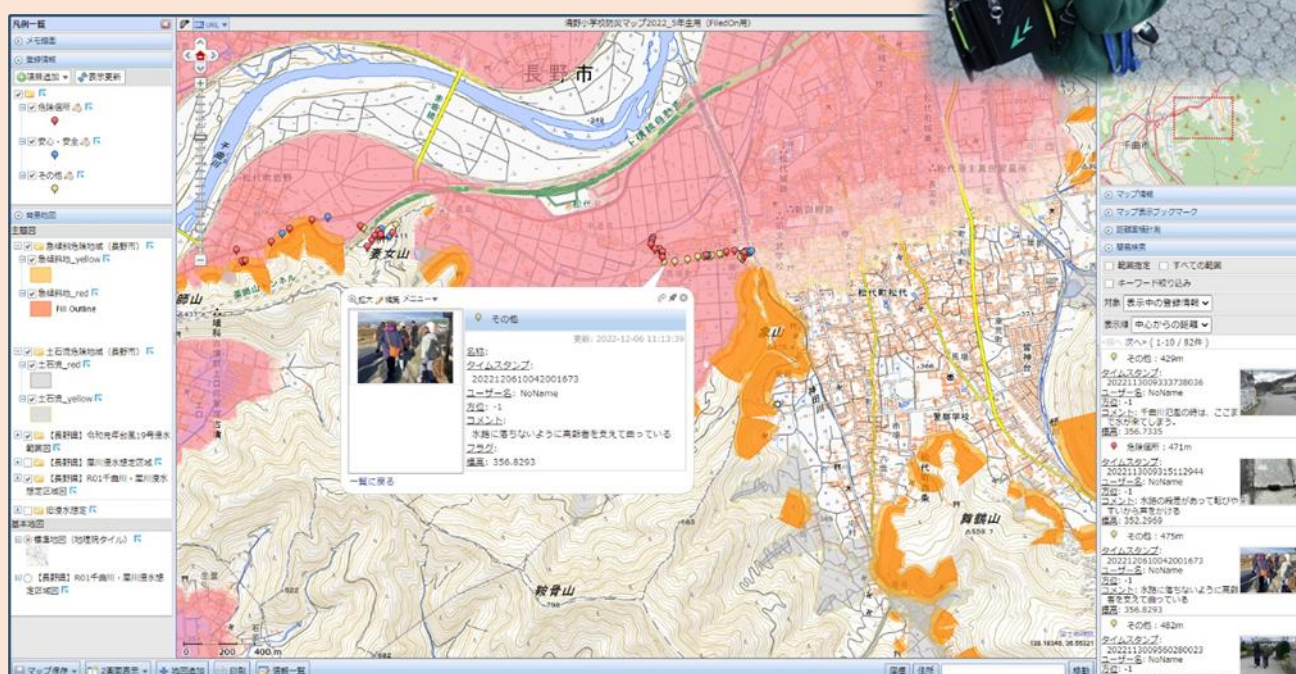


Field ON ! (フィールドオン)



- ☑ 地域と連携した防災学習を行いたい。成果を地図データベース化したい。
- ☑ 住民の自助・共助意識を向上させ、地区防災マップ・計画の作成に繋げたい。
- ☑ 定期的に防災マップの情報を更新したい(取組を継続的なものにしたい)。
- ☑ ICTの活用により、防災訓練・講習のマンネリ化、参加者の固定化を解消したい。
- ☑ 簡単操作で多くの人が抵抗なく取り組めるものにしたい。
- ☑ 施設の保守管理情報、災害被害実態等を集約して、組織対応に活用したい。
- ☑ 自社のリスク、災害図上訓練等の情報集約など、BCP対策に役立てたい。
- ☑ 防災マップ以外にも多様なテーマのマップを作成したい。

「Field ON !」の使い方

Field ON ! (フィールドオン)とは…

信州大学教育学部等が開発した専用アプリ*と、防災科学技術研究所が開発したオープンソースのWEB-GISシステム「eコミマップ」がリンクしたデジタルマップ作成システム。

*位置情報の取得、画像・コメントの登録を行う。iOS及びAndroidに対応

簡単機能で
手軽に使える！

① 仕組み、使用準備



② フィールドワーク(写真撮影、コメント入力等)

1. タブレット・スマホのカメラ機能を利用し、危険箇所や安全施設などテーマに沿った対象を撮影
2. 写真に対してのコメントを入力し、該当するアイコンを選択
3. タブレット・スマホのGPS機能を利用し、撮影した写真に位置情報を自動付与
4. オフライン時にはタブレット・スマホ内に保存し、オンラインとなると自動的にWeb-GISに登録



☑ **準備が簡単！**

アプリのインストール、サーバー側の初期設定(地図情報の保存など)のみ 詳しくは①

☑ **操作が簡単！**

「写真を撮る」「コメントを入力」「アイコンの選択」などの単純操作 詳しくは②

☑ **情報共有が簡単！**

収集した情報は自動集約！ すぐに同じ画面を見ながら議論できる 詳しくは③、④

☑ **情報管理が簡単！**

電子地図上でいつでも情報更新！ 過去の登録データのアーカイブ化も 詳しくは③、④

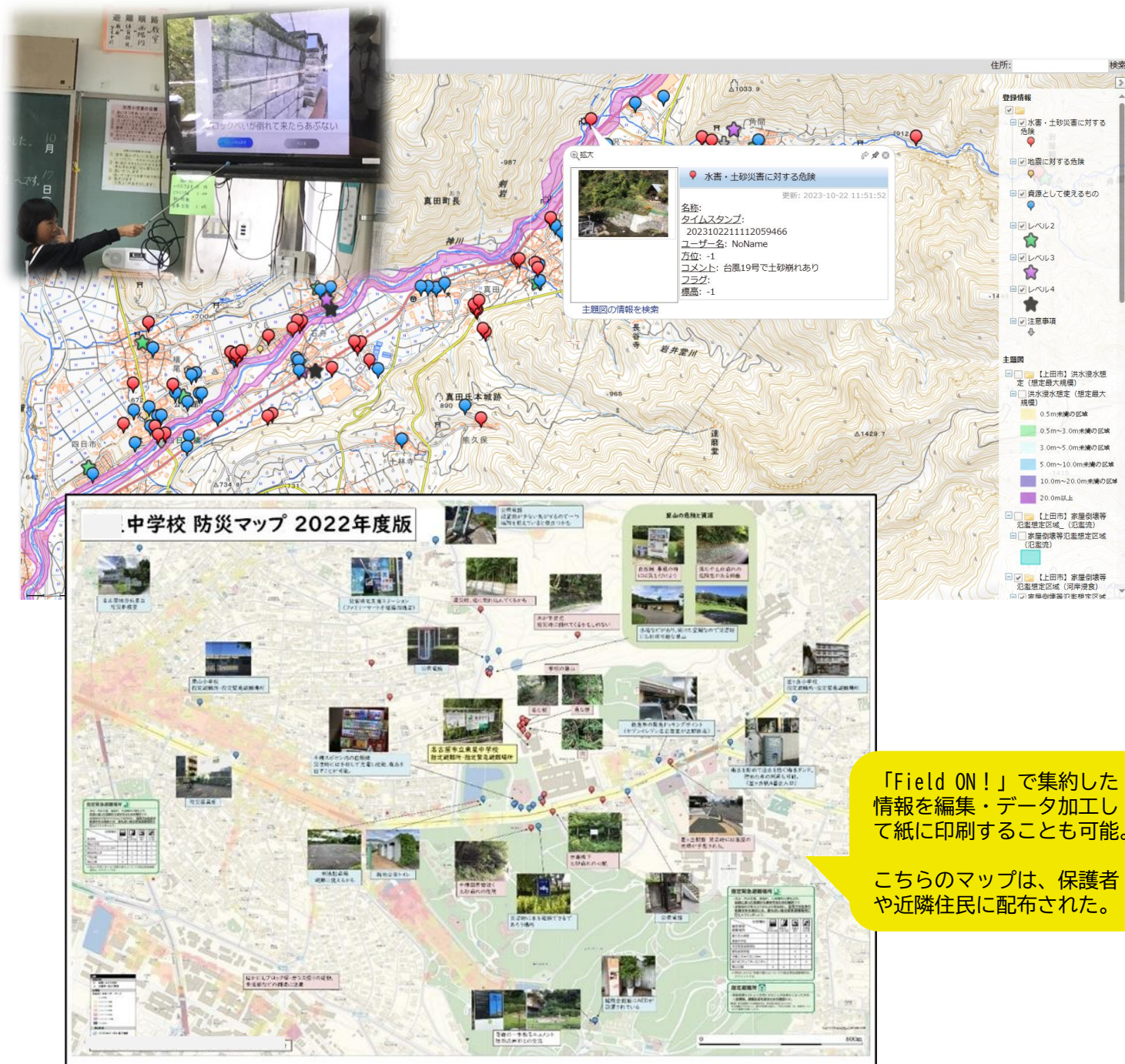
③ 情報の集約、見直し(編集)

1. 複数のタブレット・スマホ(端末)に保存されているデータをWEB-GIS上に自動集約
2. それぞれの端末はWi-Fiに接続した段階で、保存しているデータをWeb-GISにアップロード
3. Web-GIS上で、写真の登録位置やコメントを修正



④ 情報の共有・発信、定期的な見直し

1. 同じ画面を見ながら議論・検証を実施。検証内容をもとに次のまち歩きや調査等を計画
2. インターネット配信(※)などにより容易に、地域等への成果発信が可能
※ID、パスワードを設定することにより閲覧権限設定も可能
3. 紙の地図と比較して情報更新が容易(タブレット・スマホ一つで対応可能)で、高い継続性が期待



◆販売、お問い合わせ先

東京法令出版株式会社

〒380-8688 長野市南千歳町1005

TEL 026-224-7046 FAX 026-224-5439

mail:bousai@tokyo-horei.co.jp



◆開発

信州大学教育学部

特定非営利活動法人ドウチュウブ